

輝く女性

起業へのチャレンジ

クレオ大阪では、平成18年10月から平成24年3月までクレオ大阪北において、「チャレンジ・オフィス」を開設し、女性の起業を支援してきました。

これまでに、たくさんの起業をめざす女性がチャレンジ・オフィスを卒業され、多方面で活躍されています。今回、卒業生の三谷さんと高須賀さんのお二人に「起業を志した動機」「チャレンジ・オフィスでの経験」「起業する前、現状、将来に向けた展望」などについて、おうかがいしました。



私が起業を決意したのは、平成21年8月のことでした。

Bijou.代表
御片付人

三谷 直子さん

チャレンジ・オフィス入居期間
平成23年4月～平成24年3月

私の何が役に立つのか、お金を払ってもらうほどの価値があるのか…考えていたところ私も思ってもみなかったビジョンを発見したのです。それは「その人にしかない個性とパワーがある。それらを100%輝かせて生きる人がもっと増えたら、世界はどんなにステキだろう」という夢のようなものでした。

部屋は心をうつす鏡と言われます。かつての私は、キラキラと楽しそうに見える外側の世界に焦りを感じながら悶々と過ごしていました。当時の部屋は、それはひどい有様だったのです。

部屋が整っていくプロセスと、心の成長のプロセスがよく似ていることに思い至り「かたづけで自己実現をサポートする」とコンセプトを固めました。起業1年目は、モニター様のお宅を回らせてもらい、ニーズと実績に確かな手ごたえをつかみました。

チャレンジ・オフィスに入居し、開業したのは、平成23年。右も左もわかっていなかった私を導いてくれたのが、専任マネージャーのリー・ヤマネ・清実先生（中小企業診断士）をはじめ、ここでの人間関係でした。起業には、ビジョンを実現していく楽しさや、お客様への感謝と喜びがあります。同時に、仕事の内容を伝える力や、お金に関する葛藤など、さまざまな課題があります。起業を志す方々と、ともに学ぶ機会も多くありましたが、時には「派遣社員の方がマシ」と言っ辞めていく方を、さびしい気持ちで見送ることもありました。

ありがたいことに私は、クレオの皆様をはじめ関わってくださる方々から、課題をひとつずつ乗り越える知恵と勇気を育ててもらい、一歩ずつ成長させていただきました。

あの決意の日から6年近くが経とうとする今、起業とは“お金のために働く”を大きく超えた“生き方”だと感じます。多くの先達に共通しているのは「何のためにやるのか」という目的と決意です。

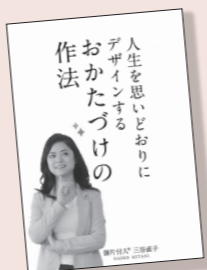
社会のあり方はどんどん変わっていきます。これから起業という生き方を選ぶ方が“志事”として、ご自身を活かし、長く続けられることを願っています。

自分を活かす、
起業という生き方



プロフィール

かたづけブーム前の平成22年に起業。コーチングと整理収納をくみあわせ、個人様宅のかたづけ、中小企業様の書類整理とコンサルティングを手掛ける。コミュニケーションスクールでの講座を軸に、公共機関、モデルハウスなどでの講座を多数担当。800時間を超える現場経験と、自身の体験に裏打ちされた講座に定評がある。
保有資格:整理収納アドバイザー1級/2級認定講師、米国NLP協会マスタープラクティショナー、GCS認定コーチ、関西大学大学院(修士)卒
Bijou. (<http://bijou-organize.com/>)



『人生を思いどおりにデザインする
おかたづけの作法』
(三谷 直子著、カナリア書房)

☑ 三谷直子さんを講師に迎え、3月7日に「人生を思いどおりにデザインするおかたづけの作法」講演会をクレオ大阪北で開催いたします。詳細は12ページをご覧ください。



プロフィール

20歳の頃、起業を視野にいれ、助産師となることを決める。大阪の総合病院に就職し、糖尿病内科・腎臓内科・婦人科で看護師勤務、その後は、産科病棟で助産師として出産介助に従事。「まずは経験、すべては将来の糧になる」という想いから、カラダづくりに繋がる東洋医学、栄養療法、癒しなどを学び仕事に繋げていった。平成23年5月株式会社ラヴィコーポレーションを創業。妊娠・産前産後のサポートや自然妊娠に関する研修や講座などを展開し、現在3年目を迎える。
株式会社ラヴィコーポレーション
(<http://lavie-co.jp>)



『あなたにもきっとある 人生を創るカラダ 思いびと 2014』
(NEOWOMAN編著、アイエス出版)
※高須賀さんが紹介されています。

株式会社ラヴィコーポレーション
代表取締役

高須賀 千絵さん

チャレンジ・オフィス入居期間
平成21年7月～平成23年3月

「これからの女性は自己実現をめざしながらも、妊娠・出産・育児の体制を自分で考え、整えていく必要がある。“妊娠してから”“子どもがはしくってから”では遅い」

私は、大学在学中に看護実習を通して、「妊娠可能な時期の女性に、妊娠を見据えたカラダ作りを意識しながら働ける環境と女性教育の場を作っていきたい」と考えていました。しかし、その夢を実現できる方法が見当たらず、「世の中にならぬなら作ろう!」と、ごく単純な理由で起業を決め、①「まずは助産師になる」、②「起業に関する情報が収集できる場や人と繋がる」、③「会社にする」という8カ年計画がスタートしました。

社会人となり、助産師の仕事は半人前、夜勤も多く、目の前の仕事に染まってしまう日々不安を感じていた頃、自分には「社会の常識がない、活動拠点が無い、専門家との繋がりが無い」ことに気づきました。そんな時、大阪市の広報で「女性起業家サポート」の文字が目に入り、「逃げないための環境を作ろう」と、チャレンジ・オフィスの選考試験を受けました。入居後、起業に関する学びだけでなく、人としての在り方、自分を律することの重要性、クリエイティブな生き方・働き方についてご指導いただきました。「どんな仕事をしようか」という以前に、「自分がどう在りたいか」が重要。常に原点を振り返る場であり、今でもすべての土台となっていると感じています。

起業は目標じゃない、
ひとつの手段

ワクワクの想いがモノづくりの原点

創業して2年ほどすると、想いに共感してくださる方や経営者との交流が多くなり、人とのご縁や仲間の優しさには何度も救われました。一方で、自分が動かないと何も生まれないことの恐怖や、仕事の悩みを共有しにくいことから孤独感や心細さを感じることもありました。自分の未熟さに凹み、責任の重さを痛感し、事業は日々試行錯誤の繰り返し。それでも、自分達で作上げていくことができるビジネスは、常に『ワクワク』しますし、本当に充実しています!私自身の成長なしには組織の成長もない、そういった想いをもちながら、今後もクリエイティブに生きていきたいと思っています。

叶えたい夢や秘めた想いがあるのであれば、是非大切に育んでください。考えていることを言葉にし、口に出し、小さなことからでも行動に移してみる。私は、チャンスも、人も、ご縁も、すべては自分の強い想いに引き寄せられると実感しています。